



Higashi Sapporo
Hospital's
Newsletter MADO

July 2024 No.117

EAPC 2024 13th World Research Congress

(13th Research Conference of the European Association of Palliative Care (EAPC))

～ヨーロッパ緩和ケア学会による第13回国際研究会議参加とパリ滞在記～

医療法人東札幌病院 理事長 石谷 邦彦

毎年開催されるEAPC世界大会とは別に、2年毎に開催される国際研究会議のバルセロナでの第13回会議に、2024年5月16日(前日会議15日)から18日まで4日間の長丁場に参加した。世界大会は参加者がときに数千人にも及び、ややお祭りのではあるが、今回の国際研究会議は1,000人限定の会議である。第11、12回会議はCovid-19 Pandemicのためonline開催であった。2018年のベルンでの第10回会議は親友であるスイスのProf. Stiefelとともに参加し、友人のProf. Kaasa, Prof. Caraceniなどと旧交を温めた。この時Dr. Leblankが若手研究者として表彰されている。EAPCは世界の緩和ケアのイニシアチブを取る学会であり私もその会員である。

今年の第13回会議は、緩和ケアのパイオニアであるバルセロナのProf. Xavier Gomez Batisteの功績を讃える意味が込められ、開会式でCicely Saunders Award受賞講演が企画されていた。この会議に参加した理由の一つは主催者の一人がベルギーのProf. Luc Deliensであり、彼とSCPSC-2026の安楽死のシンポジウムの打ち合わせの予定があったことである。彼はSCPSC-2014でも安楽死問題の講演をしており、2026年には安楽死シンポジウムの企画と座長を依頼している。二つ目の理由はAI/MLのテーマが幾つか企画されていたことである。SCPSC-2026にAI/MLシンポジウム企画の是非を知るためであった。

会議は主催者側のテーマ毎のプレナ

リーセッション(Thematic Session)と、いずれも採用されるのは難しい一般口演(Oral Abstract Session)・ポスター発表、その他が、主会場とその他の会場で要領良く構成されていた。1日目の開会式後のAI関連の一般口演は、種々の場面での緩和ケアの適切な介入の判定に寄与するというSCPSC-2024のDr. Strand (Mayo Clinic)の報告と類似の発表群であった。2日目のプレナリーセッションでのUSのDr. David Casarettの演題“AIと緩和ケア”は、AIの総論で緩和ケアにも有用という期待外れの講演であった。その後に筑波大学の濱野淳氏のオピオイド誘発性便秘症薬の発表があったがその勇気は称賛される。その後、同会場で安楽死に関しProf.



Higashi Sapporo Hospital

医療法人
東札幌病院

2024年7月発行

発行責任者／病院長 石谷邦彦

札幌市白石区東札幌3条3丁目7-35

TEL.011-812-2311(代表)

FAX.011-823-9552

E-mail: info@hsh.or.jp

HP: https://www.hsh.or.jp

Deliensの研究室のDr. ChambaereとスイスのDr. Gamondiが講演した。その日のネットワーキングアンドポスタービューイングの時間にProf. Deliensと彼の同僚たちとミーティングを行い、SCPSC-2026の安楽死シンポジウムについて私の意図を説明した。彼は今回講演した二人をSCPSC-2026の演者に推薦すると言い、改めて企画の案を送ってくれることになった。午後の症状管理の一般口演でSCPSCの理事でもあるUKのDr. Clarkが“インドにおける呼吸困難に対する自己管理法”と題しユニークな発表をしていた。最終日のプレナリーセッションの緩和ケアの費用対効果は非常に重要な議論であった。国の発展度合い、疾患にもよるが今後の大きな課題となると思われた。3日目最後のセッションの若手研究者のフォーラムでSCPSCの理事シンガポールのDr. YangがEAPC優秀研究者賞の受賞講演をし、共に喜びを分かち合った。全体的な印象として世代交代の感否めなく、Dr.Kaasaの姿はなくDr. Caraceni, Dr.Fallon, Dr. Higginsonなどは重鎮の席についていた。彼らは緩和ケア第3世代といえようか。

会議と宿泊が同じホテルでほとんど観光はなかったが、ホテルの従業員から聞いた、歩いて10分の下町のパエリアレストランL'Arroseria De Santsに3日間、夕食に通ったのが思い出に残るバルセロナである。

翌19日、朝早くの便でパリに移動した。その夕方、スイスのProf. Steifel夫妻がわざわざローザンヌから出て来られ、セーヌ河辺りのダイアナ妃の交通事故が起きた地下道の傍のレストランで夕食をご馳走になった。20、21日と二人にパリを案

内された。奥さんのFabienneはいわゆる“パリジェンヌ”で普通の観光客が行かないところにと張り切り、ほとんどが徒歩であった。彼らは歩くのが趣味でアルプスも走破している。非常に疲れたのが正直なところである。21日夜8時からフランス国立緩和ケア・終末期ケアセンター長のProf. Sarah Dauchy夫妻の、古く由緒あるアパートメント(二人乗りのエレベーターで4階であった)でのホームパーティにStiefel夫妻と共に招かれた。ご主人もパリのがんセンターの医師であり、料理は全てSarahの手作りであった。終了は午前1時すぎであろうか。Prof. Stiefelはかなり酩酊していた。22日午前9時からSarahのセンターで会議が始まり彼女のスタッフのMs.Altea, Dr. Carretierがセンターの活動を紹介してくれた。その活動はフランスの緩和ケア・終末期ケアの統計情報の収集と、それを基にした政府への提言(例えばCDSの法律化への提言)などと種々のレベルへの教育を行っていた。日本では国立がんセンターが担っている機能であろうか。フランスの国民の多様性は顕著であり緩和ケア・終末期ケアのあり方も多様性に富むと想像される。その後、私は世界の緩和ケアの最近の動向とSCPSC-2026の紹介をしたが、英語を話さないスタッフもいて、多くの資料を交えながら説明し理解してもらった。11時までお互いの異同も了解し合い、今後の交流を約束し散会となった。多くのスタッフがSCPSC-2026に参加すると言っていた。Prof. Sarah Dauchyに心から感謝している。

23日パリ発の飛行機はシャルル・ド・ゴール空港9時25分発であり、ホテルを朝5時に出発し、結局札幌には5月24日午後3時に着いた。実りある旅であったが多忙な旅でもあった。



新任医師紹介

2024年4月に当院に着任した3名の医師を紹介します。

内科外来(非常勤)

村上 俊吾



私は昭和47年に札幌医科大学を卒業し、5年半、基礎医学を学んだあと、昭和52年に当時の札幌医科大学附がん研究所内科部門に入局しました。昭和58年に医局を離れてからは、室蘭、札幌、夕張、そして再び室蘭で病院勤務を行い、地域の実情や病院の機能、役割、患者さんの病状や意向などを考慮しながら診察にあたりました。多くの患者さんに接し、いろいろな疾患をたくさん経験させていただきました。東札幌病院は今回が二度目で、一回目は平成3年から平成10年の期間でした。ここでは、血液疾患の診断治療と消化器癌を中心にがんの化学療法に夢中になりましたが、この時期治療の効果が格段に改善してきており、やりがいを感じたものでした。がん以外の疾患もたくさん見させていただき、合わせて緩和医療の実験を経験したことで、その後の診療に幅を持たせることができたように感じています。

室蘭での最後の8年半は製鉄記念室蘭病院で外来診療のみを担当させていただきました。患者さんが訴える、説明が困難な症状や所見を通して、これまであまり配慮することのなかったビタミンと微量元素の重要性を改めて教えられました。以来、この視点を大事にして診療にあたるようになってきました。今回、年齢のこともあり札幌に戻ることになりましたが、これに当たり、入局以来公私にわたりいろいろな面でお世話になってきた石谷先生の下で臨床医としての最後を過ごしてみたいとの思いがあり、週3回の外来診療を担当させていただくことになりました。各専門家の先生方には診断、治療に関連して何かとご相談させていただきますが、ご配慮のほどよろしくお願いいたします。

循環器外来(非常勤)

久野 篤史



札幌医科大学の久野篤史と申します。令和6年3月より、月に2回、火曜日午後の循環器外来を担当させていただいております。

私は循環器専門医・総合内科専門医ですが、札幌医科大学では令和4年7月より医学部薬理学講座の教授を拝命しております。富良野市の出身で、旭川東高校を卒業後、平成元年に札幌医科大学医学部医学科に入学しました。卒業後は札幌医科大学の内科学第二講座(第二内科、現 循環器・腎臓・代謝内分泌内科学講座)に所属し、循環器内科医として札幌医科大学附属病院、函館五稜郭病院、道立北見病院などで研鑽を積んでおります。平成14年に博士を取得後は函館市医師会病院に勤めていましたが、研究留学の機会を頂き平成17年から2年半、米国南アラバマ大学でポスドクとして過ごしました。帰国後は母校の薬理学講座に迎えていただき、循環器・腎臓・代謝内分泌内科学講座と兼任しながら、研究・診療・教育に携わって参りました。2年前に薬理学講座の教授に着任するまでは、札幌医科大学附属病院では循環器・腎臓・代謝内分泌内科の新患外来を担当し、幅広く診療を行ってきております。

近年Onco-CardiologyやOnco-Nephrologyという学問が提唱されています。今から20年ほど前、胃がんを患っていた私の親戚が肺動脈血栓塞栓症で急死するという出来事がありました。私はこの件がきっかけでがんと循環器疾患の関連を強く意識するようになり、「がんと循環器・腎疾患」は今の私の研究テーマの一つとなっています。がん治療医と循環器疾患・腎疾患を診る医師との連携はこれまで以上に重要になると考えており、この点でも貢献できれば嬉しく思います。

循環器疾患・腎疾患・糖尿病・内分泌疾患などの患者様がおりましたら、遠慮なく外来に予約を入れていただければと思います。少しでもお役に立てるように努めてまいりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

乳腺外来(非常勤)

九富 五郎



令和6年3月より、石谷邦彦院長のご高配により東札幌病院の非常勤医師として乳腺外来を行っています九富五郎です。

私は平成10年札幌医大卒で、その後札幌医大第一外科(現:消化器・総合・乳腺・内分泌外科)にて主に乳腺・甲状腺の診療を行っていました。大学の乳腺チームのチーフとして、平成25年より当院副院長の大村東生先生の後を引き継いで令和6年2月まで診療・研究・教育を行っていました。その後、令和6年3月1日より順天堂大学乳腺腫瘍学講座の主任教授を拝命し東京に異動になりました。10年以上、大学病院での勤務で多くの患者さんを担当し、できるだけそこでの患者さんも、希望される患者さんに関しては可能な限り札幌で今まで通り診させてもらいたいという希望を、ここ東札幌病院で可能にさせていただきました。

乳がんは現在、日本人女性のがんにおける罹患数第1位の疾患であり、日本人女性の9人に1人が生涯で乳がんにかかると言われていています。私が医者になった20数年前は20人に1人くらいの割合でしたが、日本の乳がん罹患数は年々増加の一途をたどっています。また、欧米と比較して日本人の乳がんは比較的若い世代にもピークがあることがわかっています。乳がんの領域は他の様々ながんに比べOncology(腫瘍学)という概念では最先端の領域であり、新しい薬剤もどんどんと登場しています。また、遺伝子診断をはじめとした様々な治療のニーズが増えてくる中、それに応えるべく様々な診療科や部署と連携をしてチーム医療が必要になってきます。進化する治療に対して、様々な角度から患者さんの満足のいく医療を提供することを心がけています。また、東札幌病院には大学時代から再発末期の患者さんを数多く引き受けていただき大変お世話になり、ここ東札幌病院では大学病院でなかなか経験できなかったBSCについても勉強させていただきたいと思っています。

今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

緩和ケア病棟増床のお知らせ

当院の緩和ケア病棟は、1993年に28床で道内初の承認を受けました。

2009年の新棟増築時に30床増床し、58床として稼働してまいりましたが、ほぼ満床の状態で、

院内や他の医療機関またはご自宅で入棟を待機する患者様が増えている状況でした。

そのため、より多くの患者様やご家族に緩和ケアを提供できるように、

2024年6月よりさらに26床を増床し、84床として稼働することになりました。

どうぞよろしくお願いいたします。

第一回石谷杯 —第2報—

(札幌医科大学スキー部アルペンスキーOB・OGカップ)

年が明けた2024年1月17日、石谷杯世話人の矢嶋知己先生から収支計画と賞品の報告があった。なんとOB・OGからの寄付が100万円を超える額になったという。そして小山健司先生と石井スポーツ宮の沢店で豪華な賞品を買い求め、それらの写真が添付されていた。彼ら自身が楽しんでいただようである。

1月20日(土)・21日(日)、いよいよ第一回石谷杯がモイワスキー場で開催となった。20日はOB・OGと部員の合同練習と懇親の前夜祭である。合同練習は朝9時集合で東コーチのGSポールセットから始まった。

彼のポールセットはいつもスピードの出るセッティングである。現役部員は朝早くからポールセットを手伝っていた。東札幌病院には照井名誉院長(31期)、日下部院長(42期)、他計8人のOB・OGが勤めている。その殆どがすでにスキーから離れていて、今回の石谷杯には頑張り屋の伊藤智子先生(49期)のみの出場と聞いていた。案の定、伊藤先生はアトミック製の新しいスキー板に新しいブーツを履いて登場した。

現役部員が中心の合同練習であったが、OB・OGは仕事の都合で徐々に参加、矢嶋先生

夫妻、小池英明先生、水野諭先生、小山健司先生も準備万端である。小山先生以外は皆、心に秘めた思いがある滑りであった。国体選手の小山先生は皆と比較にならないレベルの技術で別格である。私は全日本スキー連盟所属で全日本マスターズ大会に出場の医師として最高齢と思われる。その技術はそこそこそれなりである。

高学年部員の諸君の滑りは予想以上に上手く少し驚いた。今年入部の初めてスキーを履いた部員も若干へっぴり腰ではあるが、皆スピードの出るポールを完走するではないか。聞いてみると、「先輩ととにかく滑れと言われるんです」とのことであった。シーズンオフのランニングなどの練習も陸上部他のどのスポーツ部より激しく「話が違う」と辞めていった学生もいたらしい。競技スキーを目指す札幌医科大学スキー部の伝統は生き続けていた。感無量である。

華麗な滑りをしていた背の高いK君のスキー板が短く、競技用ワンピースも膝元がボロボロであった。「明日、私の昨年まで使っていた183cmのスキー板と、お古であるがワンピースを持ってくる」と約束した。しかし、午後の練習で彼は軽い左下肢の捻挫をし、明日の出場が

危ぶまれた。前夜祭でOBの整形外科医達が丁寧に診ることであろう。私は高齢者の常の通り、練習は午前中正味2時間と決めており、皆の練習を見ていた。皆和気あいあいと午前・午後とも練習に勤しんでいた。

午後6時にウッドベッカーズを訪れた。山崎生久男先生(18期)は近くの温泉宿にチェックインしたが、この時期、海外からのスキー客が多くタクシーを予約できず部員が迎えに行った。久しぶりに彼の元気な顔を見た。彼は私の主将時代のアルペンのエースであった。皆、晩御飯を食べながら談笑していたが、塚本OB会会長の挨拶後矢嶋先生の司会で前夜祭となった。OBの家里典幸先生(52期)、林毅先生(43期)など続々登場した。各々自己紹介を終え、OB・OGはアルコールと共に現役部員との懇親を深めていった。

その盛り上がったところで、ウッドベッカーズ開業50周年のお祝いのセレモニーが行われた。私が代表してオーナーの新谷暁生さんの札幌医科大学スキー部への愛情に対して、深甚なる感謝を述べさせてもらった。新谷さんの娘さんたちもスキー部OBと幼少の頃から一緒に寝起きを共にしていたという。新谷さんは私と同じく札幌西高校卒業で3年後輩である。

心配したK君の捻挫は安静と湿布で軽快するとのことであったが、2月、3月と大会が続くので、明日は念のためタイム測定の係になった。賑やかな宴会の最中試験勉強のため部屋に帰っていった部員もいたようである。一応午後9時散会の予定であったが、私が帰った後も盛り上がっていたらしい。林先生は宴会のあった食堂で酔いつぶれたという噂である。

(次号に続く)



豪華商品!



ゴールドウィン
ワンピース M



ミズノ
ワンピース L

Fischer
RC4 GS用
181cm スキー板
ビンディングセット



GS板
ビンディングセット1本
AUGMENT
181cm R21



HEAD SL用
155cm スキー板
ビンディングセット



外 来 医 師 ス ケ ジ ュ ー ル

★救急対応

(2024年5月1日～)

	診療時間		月	火	水	木	金	土
午 前	9:00～12:00	1診 (内科初診)	村上★	日下部★	村上★	村上★	佐藤(健)／小野	交代制★ (内科初診／再診)
		2診	石谷 (一般内科)	石谷 (一般内科)	石谷 (一般内科)	三原 (一般／腫瘍内科)	三原 (一般／腫瘍内科)	出張医 (内科初診／再診)
		3診 (消化器内科)	日下部	伊藤	渡邊	長岡	日下部	
		4診 (循環器内科)	高木	古谷	高木	秋津	秋津	
		5診	梅田 (呼吸器内科)	奇数週 出張医 (整形外科)	出張医 (呼吸器内科)	佐藤(健) (一般／血液内科)	伊達 (呼吸器内科)	
		6診 (一般外科)	信岡	信岡	久慈	信岡	久慈	交代制
		7診	久村 (心療内科)	前田 (乳腺・甲状腺外科)	前田 (乳腺・甲状腺外科)	大村 (乳腺・甲状腺外科)	照井 (一般／糖尿病内科)	
		8診(11:00～) (発熱者・必要時に対応)	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医	
		9診			佐藤(昇) (病をよく識る外来)		(セカンドオピニオン外来)	
		放射線治療	坂田	坂田		坂田	坂田	
		内視鏡	安保	渡邊	佐賀	出張医	伊藤	交代制
		腹部エコー			三谷	須釜		
		歯科・ 歯科口腔外科	水越／太子 大内／石谷	水越／太子 大内／石谷	水越／太子 大内／石谷	水越／太子 大内／石谷	水越／太子 大内／石谷	交代制

	診療時間		月	火	水	木	金	土
午 後	14:00～17:00	1診(13:30～) (内科初診／再診)	三谷	出張医	出張医	出張医	三谷	休 診
		2診	舘越／15:00～ 齊藤 (一般／緩和ケア内科)	佐藤(健) (一般／血液内科)	町野★ (一般／緩和ケア内科)	町野 (一般／緩和ケア内科)	齊藤 (一般／緩和ケア内科)	
		3診	佐賀★ (消化器内科)	渡邊★ (消化器内科)	小野 (一般／血液内科)	伊藤★ (消化器内科)	長岡★ (一般／消化器内科)	
		4診	秋津 (循環器内科)	偶数週 久野 (循環器内科)	照井 (一般／糖尿病内科)	高木 (循環器内科)	出張医 (脳神経内科)	
		5診		梅田 (呼吸器内科)	井須 (整形外科)	梅田 (呼吸器内科)		
		6診 (一般外科)	久慈★	久慈	久慈★	信岡／久慈★	信岡	
		7診	里見 (一般外科／乳腺・甲状腺外科)	大村 (乳腺・甲状腺外科)	大村 (乳腺・甲状腺外科)	照井 (一般／糖尿病内科)	前田／第2週 九富 (乳腺外科)	
		8診						
		内視鏡室				頭頸部外科出張医		
		放射線治療	坂田／出張医	坂田／出張医		坂田／出張医	坂田／出張医	
		内視鏡	伊藤	佐賀／伊藤	長岡	出張医	佐賀	
		歯科・ 歯科口腔外科	水越／太子 大内／石谷	水越／太子 大内／石谷	水越／太子 大内／石谷	水越／太子 大内／石谷	水越／太子 大内／石谷	

※8診午前は発熱者・必要時に対応(当日予約のみ) 月～金曜日11:00～

※6診午後の外科外来は、手術等により診療時間に変更となる場合があります。

※外来受付時間 午前の外来 月～土曜日 11:30まで 午後の外来 月～金曜日 16:30まで

※土曜日は交代制となっております。詳細はお問い合わせください。

※緊急対応等に備え、内科医師1名は13:30から待機いたします。

※当院では、待ち時間短縮のために予約制を導入しております。予約外診療も
行っております。詳細は受付にお問い合わせください。

※病をよく識る外来(要予約) 水曜日9:00～12:00 担当医師:佐藤(昇)

※セカンドオピニオン外来(要予約) 金曜日9:00～12:00

※石谷外来 火曜日9:00～11:00

※放射線治療外来は、地下1階診察室です。



●交通のご案内
地下鉄東西線「東札幌駅」より
徒歩5分

駐車場について

当院の駐車場はゲート式になっております。駐車場ご利用の方は、受付または事務室にて駐車券をご提示ください。ご利用料金は以下の通りです。

ご利用料金

外来受診・お見舞いなど、当院ご利用の方は、3時間無料です(以後30分50円)。

医療法人東札幌病院は、公益財団法人日本医療機能評価機構による病院機能評価(一般病院2 3rdG: Ver.2.0)の認定を受けています。

■認定期間
2020年9月26日～2025年9月25日



日本医療機能評価機構
認定第 JC669 号

一般病院2 3rdG:Ver.2.0

Higashi Sapporo Hospital

医療法人 東札幌病院

〒003-8585
札幌市白石区東札幌3条3丁目7-35
電話 011-812-2311 (代表)
FAX 011-823-9552
E-mail: info@hsh.or.jp
HP: <https://www.hsh.or.jp>

東札幌病院は皆様に次のような権利があることを認め尊重致します。

1. 医療を受けるにあたって、大切な一人の人間として尊重されます。
2. 受診される方の個人情報やプライバシーが守られます。
3. 病状や病名・検査結果、受ける処置やケアの内容等について十分な説明を受けられます。
4. 適切な説明のもとに受診される方の意志が尊重され、最良の治療やケアが選択できるように支援されます。
5. 身体的なことだけではなく、必要に応じて社会的・心理的な事柄に関しても支援されます。
6. 療養の経過すべてにわたって、ご希望されれば複数の医師の意見を求めることができます。
7. 最善で安全な医療と必要な健康教育をうけることができます。
8. 医学研究等に参加をお願いすることがありますが、拒否することによって不利益を被ることはありません。

東札幌病院を受診される皆様に御協力いただきたいこと

1. 心身の健康に関する情報について担当者にお伝え下さい。
2. 医療者の説明が不十分な時には、十分理解できるまで質問して下さい。
3. 治療やケアの方針を決めるときには、ご遠慮なく医療者と話し合ってください。
4. 医療者と共につくった治療やケアの計画に積極的に参加して下さい。
5. 院内では常識的な社会人として行動して下さいようお願いいたします。
6. 東札幌病院は全館禁煙です。ご理解とご協力をお願いいたします。
7. 東札幌病院では各階に提案箱を設置しております。ご意見やご要望がありましたらご遠慮なくご利用下さい。